



# ひとつぶの種

杭州日本人学校  
学校便り第 110 号  
平成 29 年 7・8 月号

## 『夏がやってきました!』

今年の杭州は例年より梅雨明けが遅いと言われました。それほどひどい雨には遭いませんでしたが、朝はよく空からポツポツと小雨が落ちてきては学校の中庭を濡らしました。おかげで「日中友好のアサガオ」はぐんぐ



んと成長し、茎は校舎の 2 階に届き、毎朝数輪の花をつけるようになりました。本市の観光地、西湖ではこれからハスの花が見ごろとなるようで、これも楽しみです。



ここまでの杭州日本人学校の前期前半を簡単に振り返ってみますと、歓迎遠足に修学旅行、宿泊体験学習と大きな行事はすべて天候にも恵まれ、子供たちの頑張りで大成功に終わってきています。その他校外学習などの行事も事前学習も含めて順調に進んできました。

それらの様子につきましては本校ホームページをご覧くださいければ幸いです。

日常の学校生活では、小学部の低学年の皆さんが生き物に大変興味があり、暖かくなってから校庭内でバッタやカエルを捕まえることに夢中になりましたが、その後で手指を清潔に洗うことができたでしょうか。高学年や中学部の人たちの模範的な生活をよく見習って、安全に生活しましょう。

長い梅雨の後には、より暑い夏がやってくると言われます。これからの時期は暑さとの戦いになりそうですが、それでも杭州っ子たちは毎日元気に登校しています。きっと長い休みを心待ちにしている人も多いことでしょう。



さて、今年は 7 月 21 日が前期前半終了日となり、8 月 21 日が後期後半開始日です。昨年の G20 のような大きなイベントはありませんので、通常どおりの日程となっております。ご注意ください。そして前期前半の最終週には個人懇談もあります。学習や日頃の生活について、また休み中の過ごし方についても一人一人にアドバイスさせていただきます。



そして、どうかご家族ともども夏を健やかにお過ごしください。受験生にとっては勝負の夏でもありますが、休み前からの早めの取り組みが有効です。前期後半には、運動会などの楽しい行事もあります。元気な顔をした皆さんと再会できることを楽しみにしています。